

はじめに

静岡県第3次地震被害想定（平成13年5月公表）の公表に伴い、県では「地震対策アクションプログラム2001」、「地震対策アクションプログラム2006」を策定し、町では、静岡県アクションプログラムの策定に伴い、地域目標をとして、平成20年1月に地震対策の数値目標及び達成時期を明示した「長泉町地震対策アクションプログラム」を策定しています。

平成23年3月に発生した東日本大震災では、従来の想定をはるかに超える巨大な地震と津波が発生して甚大な被害が発生しました。

国では、南海トラフの巨大地震に関する検討を行い、平成24年8月に人的・物的被害の想定等を公表。静岡県では、平成23年9月に当面実施すべき対策として「ふじのくに津波対策アクションプログラム（短期対策編）」の策定、平成25年6月に「静岡県第4次地震被害想定（第1次報告）」公表しました。

静岡県第4次地震被害想定では、駿河トラフ・南海トラフ沿いと相模トラフ沿いの双方について二つのレベルの地震・津波を想定しています。また、東日本大震災において発生した福島第一原子力発電所の事故や、1707年宝永地震の49日後に発生した富士山の宝永噴火などを踏まえ、原子力災害との複合災害や富士山噴火が地震の前後に発生する連続災害が発生する可能性も考慮した被害・対応シナリオの想定を行っています。

区 分		内 容
駿河・南海	レベル1の地震・津波	発生頻度が比較的高く、発生すれば大きな被害をもたらす地震・津波
相模	レベル2の地震・津波	発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波

長泉町地震対策アクションプログラム2013は「静岡県地震・津波対策アクションプログラムの基本目標である「命を守る」、「生活を守る」、「迅速な復旧、復興」、土地利用など「事前の復興」の視点を踏まえ、第4次長泉町総合計画における「災害に強いまちづくり」を実現してまいります。